

# JSCA建築構造士について



構造品質の「プレミアム・スタンダード」  
JSCA 建築構造士

## ● JSCA建築構造士とは

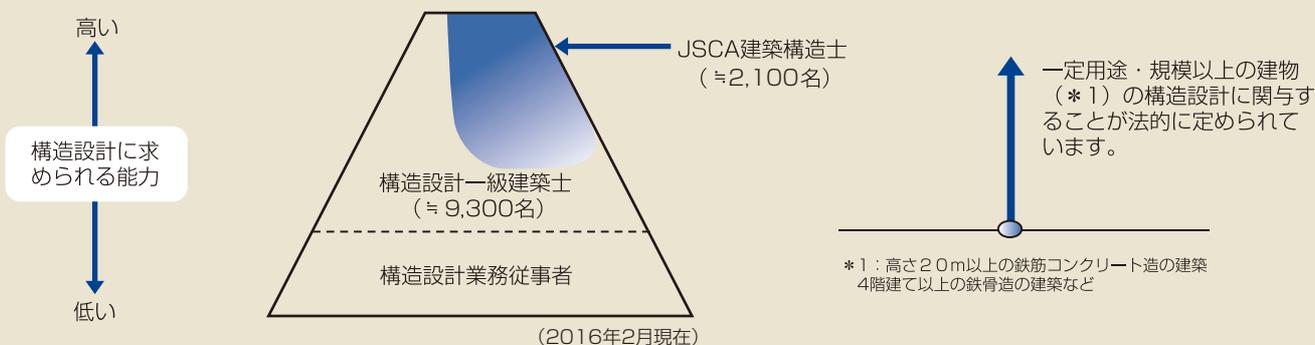
「JSCA建築構造士」とは、一般社団法人日本建築構造技術者協会[JSCA]の責任において認定する、社会に推薦しうる構造設計者の呼称です。JSCA建築構造士は、豊富な専門知識と経験を基に優れた技術力を用いて、構造計画の立案から構造の設計図書作成までを統括し、構造に関する工事監理も行うなど、建築構造の全般についての確かな判断を下すことの出来る技術者です。当協会では、優れた構造設計者として資格認定試験を行い、技量・資質共に備えていることを確認しています。

構造計算書偽装問題への対応として、平成18年に建築士法が改正され、構造設計一級建築士制度が創設されましたが、「JSCA建築構造士」は構造設計一級建築士であることを受験資格要件としており、構造設計一級建築士に要求される実務遂行能力に加え、以下の能力に関してJSCAが特に認定した建築構造技術者といえます。

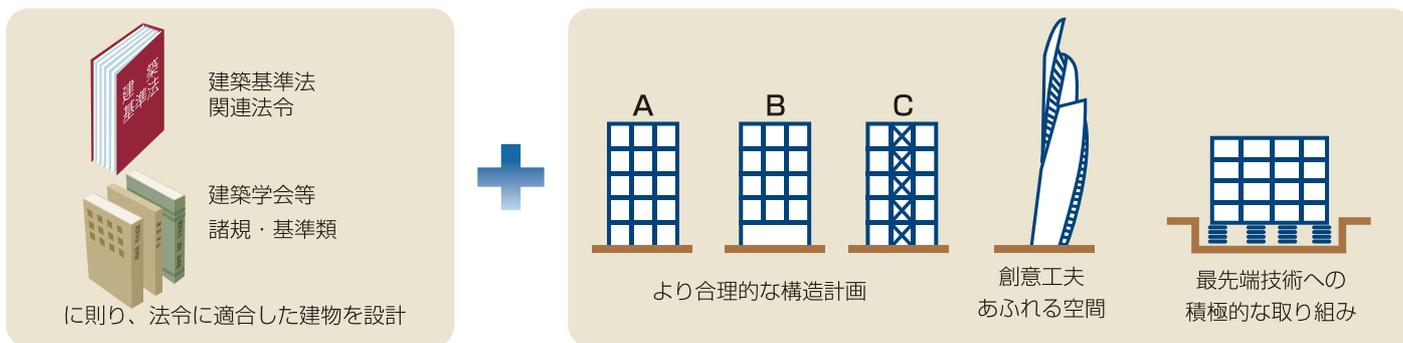
- ① 我が国の建築構造設計界をリードする見識と高い専門能力を有すること
- ② 一般社会に対して建築構造設計について明確に説明ができ能力を有すること
- ③ 建築構造技術者として高い職業倫理を有すること
- ④ 建築構造技術者の職能向上に寄与する活動を行うこと

## ● JSCA建築構造士の位置づけ

JSCA建築構造士と構造設計一級建築士の関係は以下の通りです



JSCA建築構造士は法令や各種諸基準をベースにし、最新の技術情報や論文などを参考に適切なる判断を行い、構造設計業務を進めることが出来る技術力・応用力などの能力に磨きをかける研修を続けています。



構造設計一級建築士の一般的な業務

幅広いJSCA建築構造士の業務

## ● JSCA建築構造士になるためには？—JSCA建築構造士の試験—

### 受験資格

受験資格は以下に示す要件のいずれにも該当していることが必要です。

- ① 構造設計一級建築士を取得していること
  - ② 2年以上の責任ある立場での構造設計業務の実務経験があること
- 実務経験には、設計者として責任ある立場で行った建築物の工事監理業務を必ず含むこと。なお、確認審査や構造計算適合性判定業務は含まれません。

### 面接試験の概要

経歴のほか、計画・設計・計算・工事監理などの実務経験について、面談により倫理観、人格、識見、技量などJSCA建築構造士としてふさわしいか否かを判定します。

### 筆記試験の概要

与えられた建築条件に対し、構造計画を立案し第三者に説明する能力を審査するための文章題及び、構造伏図や軸組図を作成する記述式の問題です。

## ● JSCA建築構造士の技術レベル・倫理観と資格所有のメリット

### JSCA 建築構造士取得後の CPD による技術レベルの向上・維持が図れます

JSCA 建築構造士は、5 年間毎に資格登録を更新します。これは JSCA 建築構造士がその「資質と技量の維持向上」、「発展し変化する技術や社会環境への対応」、かつ「実務経験の蓄積」を継続的に評価・確認するためです。また、JSCA 建築構造士の継続的職能研鑽 (CPD) のための講習会・見学会など積極的な CPD の支援も行なっています。



JSCA 主催の講習会

### 選考試験時に重視している倫理観を、資格取得後も維持・高揚されるよう努めています

当協会では建築構造技術者としての職能倫理に関する基本原則や行動規範を「JSCA 倫理規定」として定めております。また、JSCA 建築構造士の選考試験では複数の審査者が直接面接を行い倫理観、人格、識見、技量など JSCA 建築構造士としてふさわしいか否かを判定しています。さらに倫理委員会を設け、会員の倫理意識の維持と高揚に努めています。

### JSCA 建築構造士の資格保有の理由及び保有によるメリット (資格保有者へのアンケート結果)

JSCA 建築構造士有資格者への対象アンケート (2010 年 4 月実施: 回答者 162 名) は、全国各支部所属の JSCA 建築構造士の中から、年代、所属組織などが広範囲に亘るよう選び、幅広い層の意見となるよう配慮しました。

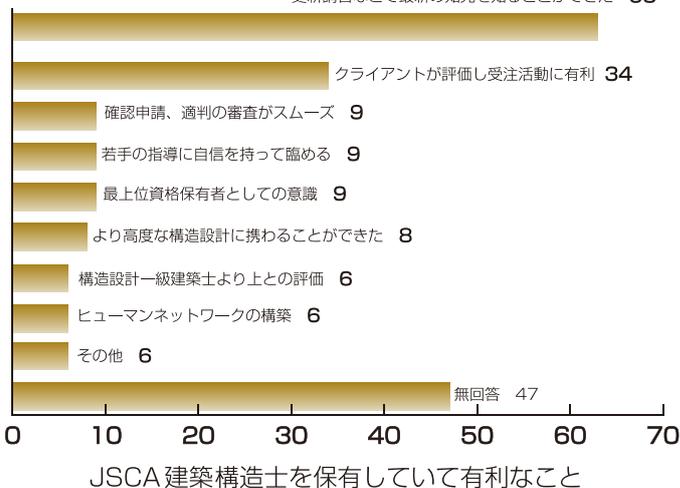
「JSCA 建築構造士の資格を保有して有利な点」については、約 70%の方が有利なことがあったと回答しています。その中で主なものは、「更新講習等での最新の知見習得」、「クライアントが評価し受注活動に有利」、「最上位資格保有者としての意識」等の回答数が多く、相当数の資格保有者が構造設計一級建築士制度発足後も有利なことがあるとの認識をしていることが分かります。

その他、JSCA 構造設計賠償責任保険に加入している事務所で JSCA 建築構造士の方がいる場合、保険の割引が適用されます。\*

また、JSCA 建築構造士の資格については、従前からプロポーザル要件としている市町村などがありましたが、近年それに加えて J5 (独自の認定資格を持つ建築専門家 5 団体からなる組織) にて、「設計プロポーザルの保有資格の要件とする」ことなど、認定資格の意義・有効性を行政、社会にアピールして来ています。

\*「保険契約期間が 5 年以上で、かつ、過去 5 年間で事故件数が 0 件の事務所のうち、事務所の代表権を持つ者、代表者、管理建築士または構造部門の責任者が JSCA 建築構造士であった場合」が割引となります。

更新講習などで最新の知見を知ることができた 63



## 構造設計の醍醐味を気鋭の JSCA 建築構造士が語る

2010 年度 JSCA 賞新人賞受賞者 山我 信秀氏 (受賞建物名称: 朝日放送新本社屋)



構造技術者には、安全に対する責任と自由で豊かな空間を構築する技術という一見すると相反することが求められています。地震、風など、時には我々の想像を超える自然現象に対して、安全に建築空間を構築する責任を果たすこと。それと同時に施主、建築家から建築空間に対する要望に対して、想像力を豊かにして様々なアイデアを提案し、検証を重ねて課題を解決し、理想の構造架構に近づけていく。この安全性と豊かな建築空間をバランスよく両立させていくプロセスが楽しいです。保守的になる場合もあれば、アグレッシブになる場合もあり、施主の要望、架構の成熟度を肌で感じてバランスを取っている感じでしょうか。また、建築要望に対する準備を怠らず、日々研鑽し、新しい技術を探求することや技術の引き出しを多くしておくことで、様々な技術で解決できることが構造設計の魅力だと思います。

JSCA では構造デザイン発表会が毎年開催されています。普段はライバル会社である他社の技術者達と建築・構造設計に対して議論することはとても刺激的です。JSCA のような技術者の中で互いに刺激し合い、構造技術の発展に貢献していきたいと思っています。

2012 年度 JSCA 賞受賞者 原田 公明氏 (受賞建物名称: 立教大学新座キャンパス新教室棟)

今年で構造設計に従事して 30 年目になりますが、飽きのこない仕事です。

出来たての意匠平面図に構造伏図を色鉛筆でくいくい書き込む時、真っ白な紙にアイデアやディテールをスケッチする時などのワクワク感はありません。また意匠設計者と構造設計者がデザインと安全の狭間で、時には和やかに時には喧嘩腰になって計画を練ってゆく瞬間は、時が経つのも忘れてしまいます。

構造設計者は、暴風や大地震などの自然災害から建物・人命・財産を安全に守る役目であり、社会的に重要な要の職能です。ただ自然現象を相手とするため、それらに畏敬の念を払いながらも真摯に対峙する姿勢が必要です。部材一本一本まで安全に設計しなければならない気の抜けない仕事です。

一方で、人々が好きな形や色の服を好むように、建築の意匠は構造と同様に大切な要素です。意匠と構造は独立したものではありません。意匠に対する構造設計者の理解あるいは貢献なしには、いい建築や空間は生まれません。

JSCA は、そんな構造設計に魅せられた人々の集まりの場ではないでしょうか。



(撮影: 阿野太一)

一般社団法人 日本建築構造技術者協会 (JSCA)

〒102-0075 東京都千代田区三番町 24 番地 林三番町ビル <http://www.jsca.or.jp>

2018年11月